

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	2-1-6	取組項目名	業務に応じた職員の雇用形態の適正化		
所管	総務	局	人事	部	人事課
〔P〕 取組内容	実施内容	業務の特性に応じ、より適切な雇用形態の選択をすることで効率的な行政運営を行うことを目的とし、また地方公務員法改正に伴い、新たに「会計年度任用職員制度」として非常勤職員の区分を設けることと併せて、既存の非常勤職員及び短期臨時職員等の雇用形態について見直しを実施します。			
	目標	H30	会計年度任用職員制度の制度(案)の決定		
		R1	会計年度任用職員制度の創設に係る条例等の規程整備		
		R2	会計年度任用職員制度の創設		
〔D〕 実績・進捗状況	H30	国が示す会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアルに従い、関係各課と連携を図り、主に非常勤職員及び短期臨時職員の実態把握を行うとともに当該制度創設に向けた職の整理を行い、制度案を決定した。			
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成	
	R1	地方公務員法改正に則り、既存の非常勤職員及び短期臨時職員の制度を会計年度任用職員制度に一本化し、条例などの規程整備と合わせて、運用面における制度設計及び庁内向けの説明会等を行い、令和2年4月1日からの制度開始に向け、必要な取り組みを行った。			
		R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成	
		H30~R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成	
	R2	業務の特性に応じて雇用形態の見直しを実施し、会計年度任用職員制度を開始した。運用面の課題を適宜整理し、庁内向けの事務マニュアルの作成や任用にあたってのシステム改修等、効率的な行政運営にあたって必要な取組を行った。			
		R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成	
		H30~R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成	
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度	令和元年度	令和2年度
		見込み	- 百万円	- 百万円	- 百万円
実績		- 百万円	- 百万円	- 百万円	
評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良			
〔C〕 課題分析	地方公務員法改正に伴い、関係各課と連携を図り、条例整備や運用面の制度設計、庁内向けの説明会等を行い、業務の特性に応じた雇用形態の適正化を図った。				
〔A〕 改善策	今後も効率的な行政運営を行うため、会計年度任用職員も含めた多様な雇用形態について、業務の特性に応じ、より適切な選択を行っていく。				
備考					